

報道関係各位

令和7年 10月20日

法務省
文部科学省
厚生労働省
農林水産省

11月29日はノウフクの日！

～「もっともっとノウフク 2025」全国各地で農福連携イベントを開催～

○農福連携の更なる展開や普及のため、全国各地で農福連携に関するイベントを開催

○12月1日(月曜日)には、都内で「ノウフクの日記念イベント 2025」を開催

11月29日の「ノウフクの日」を中心とした、11月1日(土曜日)から12月31日(水曜日)までの期間を「もっともっとノウフク 2025」として、全国各地で農福連携に関するイベントを開催します。



1. 概要

農福連携は、障害者をはじめとする多様な人たちの農林水産業での活躍を通じて、自信や生きがいを創出し、社会参画を実現する取組であり、担い手不足や高齢化が進む農林水産分野における働き手の確保や、全ての人々が生きる力や可能性を最大限に発揮できる地域共生社会の実現に資する取組です。

昨年6月に「農福連携等推進会議」（議長：内閣官房長官）において決定された「農福連携等推進ビジョン（2024改訂版）」においては、11月29日（November（ノウ）29（フク））を新たに「ノウフクの日」と制定することとされました。

農林水産省は、法務省、文部科学省、厚生労働省と連携し、「ノウフクの日記念イベント2025」や全国での関連イベントの開催等を通じて、農福連携の更なる展開や普及に取り組みます。

2. 「ノウフクの日記念イベント2025」の開催

農福連携に取り組む若手農業者や、地域協議会及びユニバーサル農園の実践者等による講演とトークセッション、農福連携の現場で活躍する方による講演を会場で行うほか、オンラインでも配信します。さらに、会場では農福連携製品の展示・試食も行い、ノウフクの日を盛り上げます。ぜひご参加ください！

イベント名：ノウフクの日記念イベント2025

「11月29日はノウフクの日！～聞いて、知って、食べて農福連携～」

日時：令和7年12月1日（月曜日）13時00分から17時00分まで

場所：ベルサール虎ノ門

東京都港区虎ノ門2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー 2F

総合司会：小林 涼子 氏（株式会社AGRIKO 代表取締役/俳優）

内容：（ア）農福連携に取り組む若手農業者による講演・トークセッション

・ロックファーム京都 株式会社 代表取締役 村田 翔一 氏

・Home Base 畠 一希 氏

・株式会社 ポタジェ 代表取締役 澤邊 友彦 氏

・ファシリテーター：大隅半島ノウフクコンソーシアム

事務局長 天野 雄一郎 氏

（イ）地域協議会・ユニバーサル農園に関する講演・トークセッション

・安芸市農福連携研究会 公文 一也 氏

・ノウフクコンソーシアム東日本 会長 森下 博紀 氏

・社会福祉法人ゆうゆう 理事長 大原 裕介 氏

・ファシリテーター：株式会社 インサイト 代表取締役 関原 深 氏

（ウ）農福連携の現場で活躍する方の講演

・社会医療法人みどり会　さんさんグリーン
/盲ろうトライアスリート　中田 鈴子 氏

共　　催：一般社団法人日本農福連携協会、株式会社インサイト、
農福連携等応援コンソーシアム、農福連携全国都道府県ネットワーク

申込方法：事前申込制（会場参加の場合は申込なしでの当日参加も可能）

参加希望の方は次のフォームからお申込みください。

〈オンライン配信の場合〉

https://us06web.zoom.us/webinar/register/WN_1memeRT8RA2WebCTqPi9Bw#/registration（外部リンク）

お申し込みの方に、視聴用の URL が送信されます。イベント終了時まで申し込みが可能です。

〈会場参加の場合〉 <https://forms.office.com/r/CuLz47r4Jv>（外部リンク）

申込期限は令和 7 年 11 月 30 日（日曜日）までです。

詳細は次のリンク先からご確認ください。

関連ホームページ： <https://x.gd/RITNi>（外部リンク）

（報道機関の皆様へ）

報道関係者の皆様で、イベントの取材を希望される方は、事前に社名及び氏名等について次の URL からご登録をお願いいたします。

【申込 URL】 <https://forms.office.com/r/EmmPAMMNsP>（外部リンク）

【申込期限】 令和 7 年 11 月 30 日（日曜日）17 時 00 分まで

【お問合せ先】 （一社）日本農福連携協会　中村、渡部

電話番号：03-6272-8839

3. 各省内の食堂等における「ノウフクフェア」の開催

農福連携を推進する 4 省庁の共同プロジェクトとして、「ノウフクの日」の前後 2 週間に、省内の食堂において農福連携により生産された農産物を用いたコラボメニューの提供等を行う「ノウフクフェア」を開催します。農林水産省内における取組は次のとおりです。

日時：令和7年11月25日（火曜日）から12月5日（金曜日）まで

※11月29日（土曜日）、11月30日（日曜日）を除きます。

内容：・食堂（あふ食堂、和幸、手しごと屋 咲くら）におけるコラボメニューの提供

- ・消費者の部屋における農福連携に関する展示
- ・生協売店における農福連携により生産・加工された商品の販売
- ・三省堂書店における農福連携に関する図書の販売

所在地：東京都千代田区霞が関1-2-1

問合せ先：農林水産省農村振興局農村政策部都市農村交流課農福連携推進室

電話番号：03-3502-0033

（注）農林水産省内における「ノウフクフェア」の詳細及び食堂によるコラボメニューの提供期間はHPをご確認ください。

<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/noufuku/fair.html>

（注）「消費者の部屋」、「咲くら」を除き、ご来場時には、農林水産省各玄関での受付手続が必要になります。

（参考：消費者の部屋HP）<https://www.maff.go.jp/j/heya/tenzi/index.html>

法務省、文部科学省、厚生労働省の食堂でも上記の期間中、農福連携により生産された農産物を用いたコラボメニューの提供を職員向けに行います。

4. 各地でのイベント開催

11月29日の「ノウフクの日」を中心とした11月1日（土曜日）から12月31日（水曜日）までの期間を「もっともっとノウフク2025」として、全国各地で農福連携の更なる普及・啓発を目的としたイベントが行われます。

イベント一覧は次のホームページからご覧いただけます。

関連ホームページ：<https://www.maff.go.jp/j/nousin/kouryu/noufuku/fair.html>

5. 参考資料

「ノウフクの日」ポスター

ノウフクの日記念イベント2025チラシ(令和7年10月21日差し替え)



お問合せ先

法務省 大臣官房 秘書課 企画再犯防止推進室

担当者：楠木、老田、上野

連絡先：03-3580-4111（内線 6747）

厚生労働省 社会・援護局 障害保健福祉部 障害福祉課

担当者：遠藤、堀江

連絡先：03-5253-1111（内線 3389）

農林水産省 農村振興局 農村政策部 都市農村交流課

担当者：佐久間、留中、原

代表：03-3502-8111（内線 5448）

ダイヤルイン：03-3502-0033



November—ノウ

29—フク—

11月29日は

農福連携イベントを全国開催！身近なノウフクを探しに出かけてみませんか？

イベント情報はこちら！



「ノウフク」の日



農福連携とは、農業と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする
多様な人たちが、農業などで活躍することを通じて、
自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取組です。
「農福連携等推進ビジョン(2024改訂版)」(令和6年6月5日決定)において、
11月29日を「ノウフクの日」に制定し、農福連携等の更なる展開や普及に取り
組んでいくこととしています。

ノウフクの日記念イベント2025

11月29日は ノウフクの日!

～聞いて、知って、食べて農福連携～

開催日時・場所

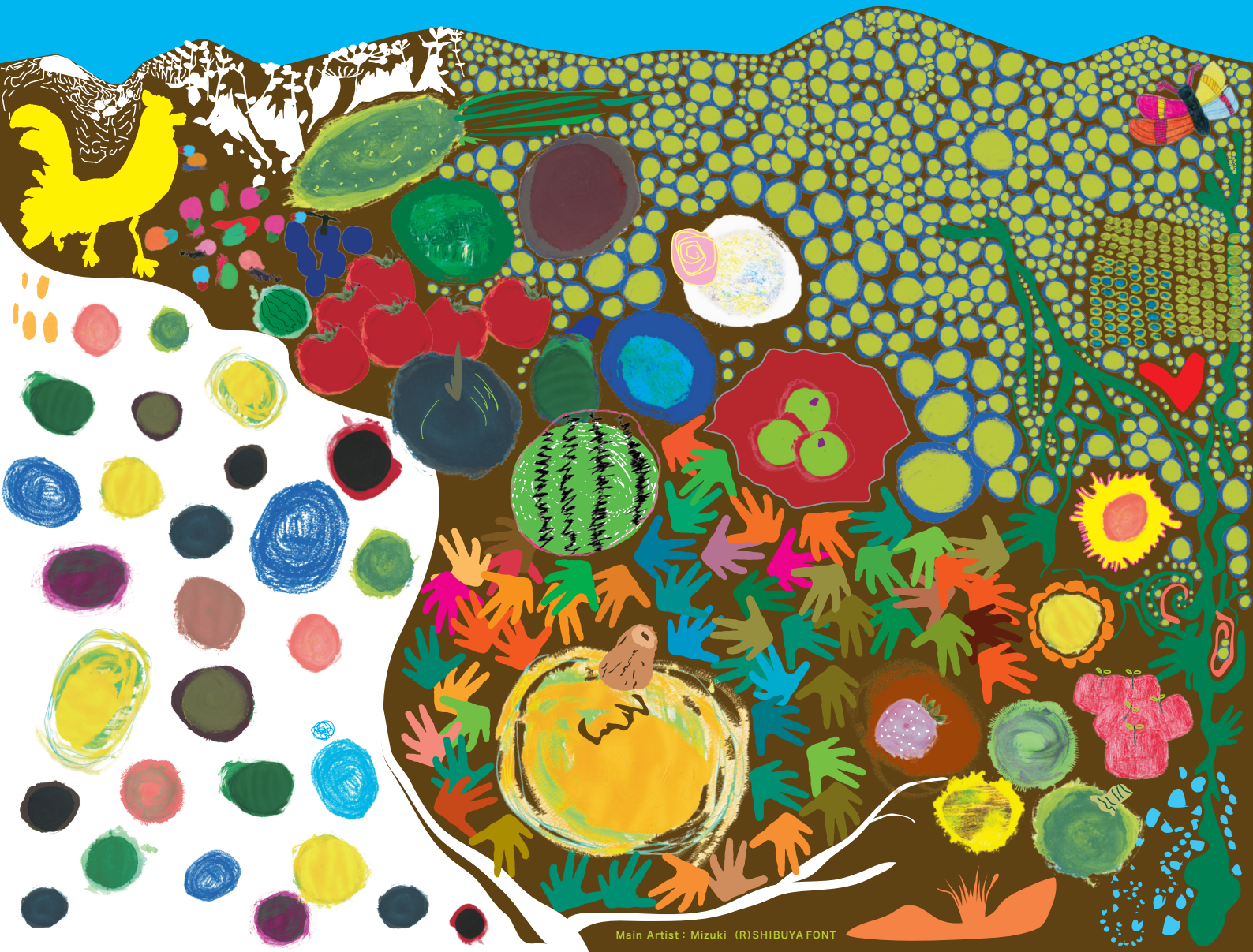
12月1日[月] 13時-17時
ベルサール虎ノ門

東京都港区虎ノ門 2-2-1 住友不動産虎ノ門タワー 2F



- ◆参加無料
 - ◆事前申込制
(当日参加可)
 - ◆入退場自由
 - ◆オンライン配信あり
- 共催：一般社団法人日本農福連携協会
株式会社インサイト
農福連携等応援コンソーシアム
農福連携全国都道府県ネットワーク

農福連携(ノウフク)とは、農業と福祉が連携し、障害を持った人をはじめとする多様な人たちが、農業で活躍することを通じて、自信や生きがいを持って社会参画することを実現する取組です。本イベントでは、農福連携に取り組む若手農業者や地域協議会及びユニバーサル農園の実践者、農福連携の現場で活躍する方など、農福連携にかかわる様々な方が登壇し、取組内容をお話します。



ステージプログラム

【開会挨拶】

農福連携等応援
コンソーシアム
会長

皆川 芳嗣 氏



【総司会】

株式会社 AGRIKO
代表取締役

俳優
小林 涼子 氏



農福連携に取り組む若手農業者による講演・トークセッション



ロクファーム京都株式会社
代表取締役
村田 翔一 氏（京都府久御山町）

元消防士。理念は「農業をカッコよくする」。障害者も活躍し、九条ネギを生産。



Home Base
畠 一希 氏（兵庫県三田市）

JAに勤務しながら、白菜や枝豆を生産する半農半Xで農福連携に取り組む。



株式会社ボタジェ
代表取締役
澤邊 友彦 氏（石川県津幡町）

バックパッカーを経て就農。自然栽培×農福連携でハーブを生産・加工・販売。



[ファシリテーター]
大隅半島ノウフクコンソーシアム
事務局長
天野 雄一郎 氏（鹿児島県錦江町）

元旅行会社勤務。地域の団体をつなぐ協議会を設立し、農福連携普及に取り組む。

地域協議会・ユニバーサル農園に関する講演・トークセッション

農福連携の現場で活躍する方の講演



安芸市農福連携研究会
公文一也 氏（高知県安芸市）

安芸市の自殺対策から発展した農福連携の先進的な地域協議会の立役者。



ノウフクコンソーシアム東日本
会長
森下 博紀 氏（長野県松川町）

農福連携実践者であり、東日本の農福連携の発展に向けて設立した同団体の会長。



社会福祉法人ゆうゆう
理事長
大原 裕介 氏（北海道当別町）

地域共生の実現に向け町の基幹産業である農業に着目。ユニバーサル農園も実施。



社会医療法人みどり会
さんさんグリーン
盲ろうトライアスリート
中田 鈴子 氏（大阪府枚方市）

弱視ろうのアスリート。指先の感覚で茶摘みをするなど、農作業の現場でも活躍。

農福連携製品の試食・展示

ぜひご来場ください。



この事業は、農林水産省の令和7年度「農山漁村振興交付金」を活用して実施しています。

お問い合わせ先：一般社団法人日本農福連携協会 [Tel: 03-6272-8839] [メールアドレス: info@noufuku.or.jp]